

成果指標				
成果指標	活動実績の達成率(実績/計画×100)			
指標設定の考え方	国や県の補助金等を受け事業実施しているものであり、限られた予算内で計画どおりの事業完遂を目標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100%	100%	100%	0
実績	100%	100%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	ここで実施している3事業については、国や県の補助金を受け実施しており、予算の範囲内で最大限の効果が得られるよう事業を実施している。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	「スクールガードリーダー」の雇用による通学路安全点検など学校における児童・生徒の安全確保、からたち幼稚園で実施した「森のようちえん事業」、南山崎小学校で実施した「特色ある道徳教育推進事業」において計画どおりに一定の成果をあげることができた。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題